

「職場見学バスツアー」

本行事は、主に3年生を対象として、空港及び食品（パン）製造の職場見学を通して、業界研究や職業理解につなげることを目的としています。

今回は、2社の多大なるご理解とご協力のもと、3年生20名をはじめ、業界研究に積極的な2年生4名及び1年生3名の計27名が参加しました。

学生たちの中には、航空業界や食品製造に興味をもち、具体的な研究を目的としていた者はもちろん、働くということとはどんなことなのかという根源的な問いをもつ者や業界に興味があったからといった動機をもった者まで、様々な思いをもつ学生が参加していました。

平成29年9月22日（金）。27名の学生たちが、広電エアサポート株式会社様（広島空港）と株式会社八天堂様（広島みはら臨空工場）へ見学に伺いました。

広島空港では、広電エアサポート株式会社様（JAL地上業務受託）から広島空港内の主要な施設や設備について説明を受けたり、駐機場から離陸直前の飛行機をお見送りする貴重な体験をしたりすることができました。グランドスタッフを始めとする空港業務に携わる方々は、常に安全を第一に考えながら、お客様に親しみをもっていただける接客を心がけて業務を行っているということを実感しました。

見学後は、本学卒業生のグランドスタッフから就職活動の経験や業務に関して説明をいただいたり、学生からの質問に答えていただいたりしました。



カウンター業務と車椅子の対応について



JAL機のお見送り①



JAL機のお見送り②



卒業者からのお話

株式会社八天堂様の工場では、まず社長から同社のヒストリーや、現在の成功の陰に秘められた数々の困難について話をさせていただきました。話の合間には、学生たちに対して、とても力強いメッセージを何度もいただきました。

特に、平和や肉親の尊さ、健康のありがたさについては、自身の経営者としてのどん底の経験を基にお話しいただき、大変力強く心に響きました。そして、「あなたと出会って良かったと言われるような人になってほしい」「素直さをもって、自分自身を大切に、また応援してほしい」という言葉は、学生たちに向けられたエールであったと感じました。

その後、工場見学を行いました。人気の商品が何重もの衛生管理のもと、手作業によって丁寧に作られていく様子を間近で見ることができました。



社長のお話



工場入口でこんな歓迎を受けました。



工場見学に臨む

参加した学生たちは、次のような感想をもっています。

- ・仕事の難しさや、やりがいなどが分かった (3年)
- ・企業研究を通して、自分が働きたいと思う企業をしっかりと見定めようと思った (3年)
- ・努力すれば結果がついてくることが分かった (3年)
- ・視野も選択肢も広がった (2年)
- ・やりがいのある仕事に就きたいと思うようになった (1年)

この度は2ヶ所を見学しましたが、私たちが歓迎していただき、大変感謝しています。また、それぞれの現場では、仕事のやりがいだけでなく厳しさについても教えていただきました。これらは、就職活動だけではなく今後の人生においても生かすことのできる貴重な経験となりました。

学科や学年により、就職活動のスケジュールは異なりますが、皆それぞれの決意を秘めて、これからより充実した学生生活と就職活動に取り組んでいくことでしょう。